

Waca.p

和歌山県文化情報誌
ワカピー

Vol.108



特集～県展、ジュニア県展 …………… 2
県文で逢いましょう …………… 3
イベントスケジュール …………… 4・5

和歌山県文化表彰受賞者 …………… 6
感動発見！文化の「扉」 …………… 7
ピックアップインフォメーション …………… 8

評価が成長の契機に

創作意欲を応援する「県展」「ジュニア県展」



県展会場風景

「県展」の名で広く親しまれている「県美術展覧会」。昭和22年から実施されている県内最大の公募展で、入選・入賞作品は近代美術館での展示に加え、県内3カ所で巡回展示されます。コロナ禍でも開催を継続し、美術家や県民の励みになりました。一方、子どもたちの美術力向上を支援しようと、平成27年より「県ジュニア美術展覧会(ジュニア県展)」も行われています。両展について聞きました。

作品をより高める場

高校生以上を対象とした県展は、洋画、日本画、書、写真、工芸、彫塑、華道の7部門。昨年は300点以上の応募があった、県内最大の公募展です。審査、選考を通し、優れた作品を県民に紹介することで、さらなる創作意欲や芸術文化の振興につなげるのが目的。県展に入賞したことを誇りに、次のステップに踏み出している美術家も多くいます。

共催する県立近代美術館の奥村泰彦副館長は、審査について「作品を専門家に評価してもらえる貴重な機会。どこをどうすればさらに良くなるのか、自分の作品をより高めていくため

のきっかけとなるはず」と、意義を語ります。

次世代の美術家育成

また、ジュニア県展は、小中学生が対象。次世代を担う美術家の育成と、将来、若い世代の県展への応募増加につながるよう、平成27年に創設されました。絵画、書、立体の3部門で、幅広く作品を受けいれていることもあり、昨年は4,266点もの応募がありました。

奥村副館長は「学校とは異なる形で評価を受けられるのがジュニア県展の特徴。審査員の皆さんには制作の過程はわからず、作品だけを判断材料として評価されるので、作品の意

図が大きな意味を持ってきます」。

第8回ジュニア県展立体の部で最優秀賞に選ばれた瀬田英資さん(小6)は、廃材を使ってライオンを制作＝写真下。ペットボトルや毛糸、包装紙などを自由な発想で取り入れ、試行錯誤しながら作りあげました。受賞を聞いたときは、「飛び跳ねるほどうれしかった」といい、「焼きものや漆器にも興味が出てきたので、これから挑戦してみたい」と夢を話します。

… … … … …

審査によって美術家や子どもたちの創作意欲を応援する県展、ジュニア県展。自身の作品が評価を受ける場は、成長につながる契機となるはずです。一度応募してみませんか。



▶令和4年度、県展の一環として県立近代美術館で行われた、書部門のワークショップ。書家から直接指導を受けられるとあって、多くの人が参加しました。



◀第8回ジュニア県展立体の部で最優秀賞に選ばれた瀬田英資さんの作品。あふれるアイデアを工夫しながら形にしました。

第77回県展、第9回ジュニア県展の詳細は、決まり次第、和歌山県文化学術課HPに掲載されます。

和歌山県文化学術課 検索

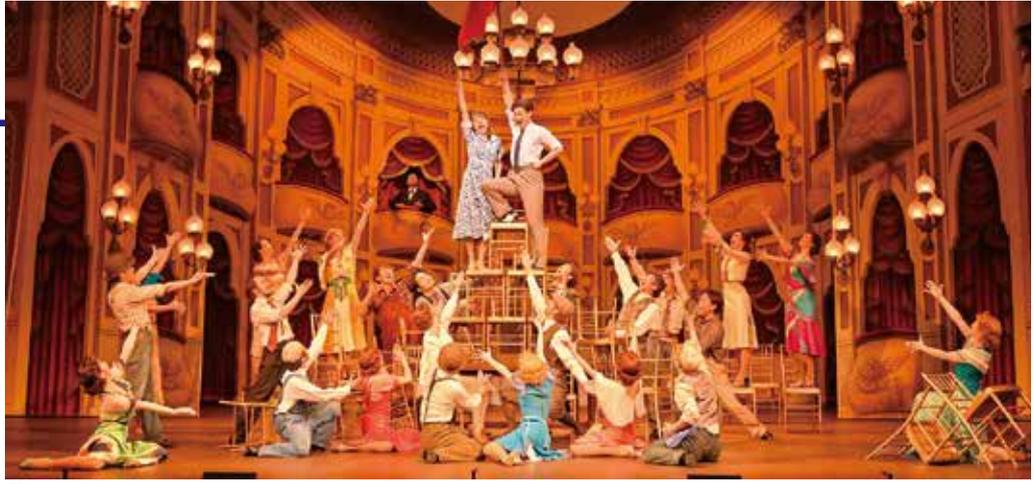
県文

ken-bun

で逢いましょう

9月23日(土)祝、県文大ホールで開催される劇団四季ミュージカル『クレイジー・フォー・ユー』。8年ぶりに上演されるとびきりハッピーな舞台です。ポビー役の萩原隆匡さんとポリー役の町真理子さんに、全国公演にかける想いなどを聞きました。

(文中敬称略)



撮影：荒井 健

『クレイジー・フォー・ユー』

劇場が一体になるとびきりハッピーなミュージカル

——8年ぶりの公演です。どんな作品ですか。

萩原隆匡 底抜けに明るいミュージカルです。会場が一体となって、笑って、泣いて、楽しんで。そんな良い時間を過ごしてもらえんと思います。

町真理子 初めてご覧になった方にも入りこんでもらえるコメディです。つらいことや嫌なことがあっても、劇場にいる間は忘れて、大笑いして帰っていただけます。

——「再生」「生きがい」がテーマです。

町 寂れた町がだんだん活気にあふれ、住民が生きがいを見つけていく物語は、今の世の中にも通じると思います。舞台をご覧になった皆さんに元気になってもらえたらうれしいです。

萩原 テーマを自分に重ねると、「劇場でお芝居をすること」が生きがいです。稽古は厳しいですし、舞台は緊張することもあります。見てくださった方に喜んでいただければと思います。そ

してそれが、自分にとって最高の幸せだと気づかせてくれた作品でもあります。

——とくに注目してもらいたいところは？

萩原 ダンスです。ロープやイスなど身近にあるいろんな小道具を使います。実はこれ、振り付けのスーザン・ストローマンの子どもころのアイデアだと伺いました。だから動きがピュアなんです。僕もピュアな気持ちでダンスに臨んでいます。

町 歌と音楽です。誰もが一度は聴いたことがあるガーシュウインの名曲に心が浮き立つと思います。韻を踏んだ訳詞は、30年前のものとは思えないほど、とてもおしゃれです。

——8月から全国公演がスタートします。

町 来年2月までのロングランですが、毎公演、作品の感動をしっかりお届けできるよう、各地のお客様と新しい発見をして、一緒に楽しみたいです。

萩原 劇場でなければ味わえない感覚や感情があります。ぜひ会場へ足を運んでいただき、目の前で繰り広げられる生の舞台をご覧ください。全国に行けるのが本当に待ち遠しいです。劇場でお目にかかるのを楽しみにしています。

～STORY～

1930年代、ニューヨーク。銀行の跡取り息子、ポビーは仕事よりもダンスに夢中。母親の命令で、砂漠の町の劇場をいやいや差し押さえに行くが、そこで出会った娘ポリーに一目惚れ。ところが彼女は、ポビーが差し押さえに来た劇場のオーナーの娘だった。フラれたポビーは、大物プロデューサーのザングラーになりすまして劇場を救う、という作戦に出るが…。



舞台にかける意気込みを語る萩原隆匡さん(右)と町真理子さん。公演スケジュールは▽7月22日までKAT神奈川芸術劇場(ホール)▽8月26日から全国ツアー(和歌山は9月23日、県文)。

9/23(土)祝

劇団四季ミュージカル
『クレイジー・フォー・ユー』

チケット好評発売中

※詳細は4-5ページをご覧ください



撮影：荒井 健

7月

夏休みアートワークショップ **参加者募集**

7月29日(土) 13:00~15:00

有田川町地域交流センター【ALEC】
(有田郡有田川町下津野704)

講師: 林憲昭(美術家: 東京藝術大学卒)

無料(小学生以上 ※低学年は保護者同伴)

定員20人

●申込受付/7月7日(金)10:00~(電話受付のみ・先着順)

9月

劇団四季ミュージカル『クレイジー・フォー・ユー』

ラブコールにちよって8年ぶりに贈る、
とびきりハッピーな舞台をぜひ、お見逃しなく!

9月23日(土・祝) 開演18:00

和歌山県民文化会館 大ホール

SS席10,000円 S席8,000円 A席6,000円 B席3,000円

※全席指定(未就学児入場不可) ※団体割引あり

●けんぶん友の会優先電話予約/7月10日(月)10:00~

●一般販売/7月20日(木)10:00~

撮影: 荒井 健



10月

令和5年度優秀映画推進事業「名作シネマシアター」

10月11日(水) 上映10:30~18:00

和歌山県民文化会館 大ホール

上映作品: 「にごりえ」(10:30~12:40)

「純愛物語」(13:20~15:30)

「細雪」(15:40~18:00)

前売400円(当日450円) ※全席自由

●一般販売/7月30日(日)10:00~



にごりえ



細雪

8月~12月

和歌山県出身アーティスト「とっておきの演奏会」
わかふるコンサート2023(全6回)

※5・6/出演者は次号掲載

① 和歌山県立近代美術館 ホール

8月26日(土)

開演13:30

定員なし



③ 和歌山県動物愛護センター

11月18日(土)

開演13:30

定員なし



② 和歌の浦「万葉館」

9月30日(土)

開演13:30

定員80人



④ 和歌の浦「県公館」

12月10日(日)

開演13:30

定員30人



●申込受付/7月19日(水)10:00~ 無料(定員ありは要申込)

10月

「おかあさんといっしょ」ファンターネ! がやってきた

10月29日(日) 開演①13:00 ②15:30

和歌山県民文化会館 大ホール

3,000円 ※全席指定 ※1歳以上有料、1歳未満のお子様は保護者1名につき1名までひざ上無料

●けんぶん友の会優先電話予約/7月18日(火)10:00~

●一般販売/7月29日(土)10:00~



©NHK



ホームページ



Twitter



Instagram

主催

- 和歌山県
- (一財)和歌山県文化振興財団

11月

和歌山県が贈る「ほんもののヴァイオリン体験」 **参加者募集**

11月4日(土) ①13:00(20名) ②15:00(20名) ※各約1時間
和歌山県民文化会館 大ホール
1,500円(5歳～大人まで)
●申込受付/7月25日(火)10:00～(電話受付のみ・先着順)



大阪交響楽団 吉岡克典 ©飯島隆 伊藤瑳紀 ©飯島隆

11月

第51回 和歌山県新人演奏会
51年の歴史と伝統を誇る新進演奏家のお披露目コンサート

11月12日(日) 開演13:30
和歌山県民文化会館 大ホール
1,000円 ※高校生以下無料 ※全席自由(未就学児入場不可) ※詳細については次号に掲載



12月

名曲で綴る至福の空間
千住真理子ヴァイオリン・リサイタル

12月17日(日) 開演14:00
田辺市・紀南文化会館 小ホール
3,000円 ※全席指定(未就学児入場不可)
●けんぶん友の会優先電話予約/7月31日(月)10:00～
●一般販売/9月1日(金)10:00～



千住真理子 ©Kiyotaka Saito (SCOPE)

令和6年1月

ウクライナ国立バレエ『ドン・キホーテ』(全3幕)

令和6年1月12日(金) 開演18:30 ●けんぶん友の会優先電話予約/8月18日(金)10:00～
和歌山県民文化会館 大ホール ●一般販売/8月30日(水)10:00～
S席9,000円 A席7,000円 B席5,500円 C席4,000円

令和6年1月

南葵音楽文庫寄託記念公演
読売日本交響楽団 華麗なる「新世界」

日本三大オーケストラ「読響」と、人気・実力とも現在トップランクの原田と牛田が贈る、感動の名曲ステージが和歌山で実現。

令和6年1月24日(水) 開演19:00
和歌山県民文化会館 大ホール
S席5,000円 A席3,500円 ※全席指定(未就学児入場不可) ※団体割引あり
●けんぶん友の会優先電話予約/7月24日(月)10:00～
●一般販売/8月1日(火)10:00～

【演奏曲目】

ネイラー : 序曲「徳川頼貞」
ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番
ドヴォルザーク: 交響曲第9番「新世界より」



©読響



【指揮】原田慶太楼 ©Claudia Hershner 【ピアノ】牛田智大 ©Ariga Terasawa

12月

＜講師募集＞ 伝統文化体験「けんぶん DE 体験教室」

12月3日(日)9:00～16:00(準備と片付け含む)

募集要項

- 落語・茶道・日本舞踊・短歌・三味線・尺八・書・和楽器などの体験企画 ※鑑賞機会の提供のみの企画は対象外
- 1教室10,000円(源泉所得税含む)支給 ※室料、イベント保険以外の経費は自己(講師)負担
- 室料、イベント保険以外の経費は自己(講師)負担
- 応募用紙にて応募(選定結果は文書で通知)

応募受付
7/30(日)
まで



歌で和歌山を元気に

シンガーソングライター **TOMPEI** さん
(トンペイ)

1958年、紀の川市生まれ。本名・田中良幸。楽器店勤務を経て2013年、54歳でプロデビュー、ソロ歌手として地元・和歌山を中心に活動を開始。これまで上田正樹、かまやつひろし、野口五郎ら数々の有名アーティストと共演。18年に県民文化会館大ホールで開いた還暦記念コンサートには2000人が集まった。翌年、東京で単独公演を開催するなど、精力的に動いている。

学生時代にドラムやギターを始め、プロを目指し20歳で上京したものの半年で帰郷。楽器店に就職し、社会人として歩む一方、アマチュアとして歌い続けました。

50歳の時、プロの演奏家たちと出演したライブが大盛況となり、公演依頼が多数舞い込みます。「一度諦めた」プロの道、を目指すなら今だ」と一念発起。脱サラし、音楽の世界へ新たに出発しました。

代表曲は40年以上歌っている『あなたのそばで』や、自身のバンドの楽曲『夢は途中』。魂を込めた甘いバラードが持ち味です。歌の魅力について「力強く声を出すか、語りかけるように優しく音に言葉をのせるかで、心への伝わり方が違う。それが醍醐味」と熱を込めます。

活動の原動力とするテーマは、「歌で和歌山を元気に」。

ライブハウスや会館だけでなく、高齢者施設でも歌を披露しています。現在は文化功労賞受賞を記念し、「人生の先輩たちを力づけたい」と、施設からライブのリクエストを募る企画を3月に開始。「賞をいただけたのは、応援してくれる皆さんがいてくれるからこそ。恩返しのため県内を歌い回ります」と笑顔を見せます。



昨年和歌山城ホールで開催した、自身がリーダーを務めるTOMPEIバンド結成10周年記念コンサート。プロになるきっかけを作ってくれたメンバーたちに、「今も一緒に活動できることがうれしい」と、感謝を伝えます。

和歌山県文化表彰受賞者

和歌山県文化表彰とは、文化の向上・発展に特に顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。



地域音楽文化向上目指す

音楽家 **宮澤 敏夫** さん
(みやざわ としお)

1943年、台湾生まれ。47年に引き揚げで滋賀に戻り、京都、大阪を経て、62年に東京の武蔵野音大へ進学。66年、卒業と同時に大阪フィルハーモニー交響楽団へコントラバス奏者として入団し、同年から和歌山市に居住。演奏活動を続けながら、70年に和歌山音楽振興会をスタート。日本演奏家連盟や札幌交響楽団の事務局長から、現在は富士山静岡交響楽団の専務理事を務める。

幼いころからヴァイオリンに親しみ、大学でコントラバスに転向。大阪フィルハーモニー交響楽団時代は、国内外で数多くの演奏会に出演してきました。

1970年には、和歌山音楽振興会をスタートします。県民文化会館大ホールで交響楽団のコンサート、小ホールでリサイタル、さらに年6回は小会場でサロンコンサートを開催。「良質の音楽に触れる機会と、演奏家と交流の場を設け、ファンをつくる」ことを目的に40年近く続けました。

1987年、経営危機にあった大フィル再建を託されます。演奏者としてのキャリアに終止符を打ち、事務局長に専念。わずか3年で収益を改善させました。手腕を買われ、財政難だった札幌や静岡の交響楽団も再建してきました。

さらに、倉敷や大垣、日光などではプロデューサーとして

音楽祭立ち上げにかかわり、成功に導いています。

現在の願いは、「和歌山で音楽祭を開く」こと。「有名ソリストたちが丁々発止繰り広げる演奏は、その場でしか聴けません。また、観光を兼ね他府県から人が来ると、街が潤います」と力を込めます。音楽を通じた地域づくり、文化向上への思いは、とどまるどころを知りません。



大阪フィルハーモニー交響楽団在籍中、2度にわたりウィーン国立音楽大学に留学。そこで会得したコントラバスのウィーン式奏法を、富士山静岡交響楽団のリハーサルで模範演奏をしながら指導する宮澤敏夫さん(左)

感動発見！文化の「扉」

和歌山を拠点に、文化・芸術活動に取り組む団体をご紹介します。
知る、まなぶ、体験する場に、加わってみませんか。

写真

風景写真クラブ NP ^{なごみ} 和

感動の瞬間を切り取る

「風景をよく観察し、感動を切り取ることが写真術」。そう話すのは小畑英三代表。「見える景色」ではなく、「その瞬間」をとらえるのです」と強調し、東春美副代表は、「光の差し込み方が心に響くまで、何時間も待つことがあります。まさに一期一会です」と魅力を語ります。

毎月の撮影会では、四季を感じられる場所を訪れます。近畿地方中心ですが、年に1度は信州など遠方へ。撮影時は、先入観を持たないよう心がけ、ファインダーをのぞきます。同じ場所でも撮影者それぞれの感性により、全く違う写真になるのが面白いところ。定例会では、互いの作品について、着眼点や課題を講評し合います。

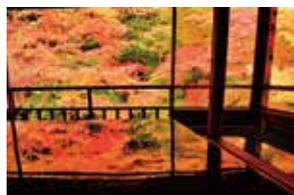
活動の集大成は、秋の作品展。メンバーの自信作約50点が並び、旅をしているような気分が味わえます。

風景写真
クラブNP和
Profile

2014年7月、風景写真の愛好家が集まり設立。NPとはNature(自然)、Photograph(写真)の頭文字で、和は「和歌山」「会員同士の和」「なごやかな会」を意味します。現在11人が在籍。県民文化会館で開催する作品展は、毎年1000人近くが来場する盛況ぶりです。



小畑英三さん「雲ひとつ」(北海道・美瑛)



陰地淳一さん「[京日和] 錦秋」

カメラを一緒に楽しもう

初心者をはじめ、本格的に撮影を学びたい人まで大歓迎。機材の使い方や光のとらえ方、シャッターチャンスのポイントなどを丁寧に指導します。定例会は毎月第1木曜日午後6時～9時。問い合わせは小畑さん ☎090-9622-5940。

能楽

和歌の浦万葉薪能の会

かがり火が照らす 幽玄の世界

万葉の地を舞台とする「和歌の浦万葉薪能」は、県内外から能楽師、狂言師を招き、毎年秋に片男波公園で開催しています。かがり火に照らし出される能の幽玄の世界は、ここでしか体感できない幻想的な雰囲気にも包まれ、見る者を魅了します。万葉薪能の会では「和歌浦湾に沈む夕日や名草山から登る月、波の音、虫の声が舞台と調和する様を楽しみながら、能にふれる特別なひとときに身を置いてみませんか」と呼びかけています。次世代育成にも力を入れており、子どもたちを対象とする能と太鼓のワークショップは、同公演で練習の成果を披露。また、舞台とは違った視点で能の魅力を学べる絵本『青葉の笛』の語り聞きをはじめ、高津子山の整備・清掃作業、写真家を招いた和歌の浦の風景撮影会、語り部とめぐるウォーキング会などを催しています。

和歌の浦
万葉薪能の会
Profile

山部赤人が詠んだ歌を題材とする能『鶴』を、ご当地の和歌の浦で開催したいと1999年に発足。「伝統芸能の啓発」と「和歌の浦のまちづくり」をテーマに、「万葉薪能」をはじめ、能や太鼓のワークショップ、誰もが気軽に参加できるセミナー等を実施しています。



伝統芸能の世界をかがり火のもと披露します



自然の中で能にふられる野外ステージ

第24回万葉薪能

10月8日(日)午後4時20分～、片男波公園野外ステージ。観世流能『敦盛二段之舞』、大倉流狂言『太刀奪』。前売一般4,000円、学生1,500円。当日各500円増。雨天時は、健康館アリーナで開催。問い合わせは同会事務局 ☎090-1967-3084。

県文会議室

午前、午後、夜間いつでも

1,000円

文化教室や
会議、面接、
勉強会で
大人気!!

全室、有線LAN
フリーWi-Fi(無料)

サービス実施中!
※18名会議室12室対象

県文展示室

みんなの作品で街を元気にしよう!
展示室15%値下

約 **4万円** [1日約5,700円]
1週間 利用で

※展示室全4室対象/上記は特設展示室の料金



P 約500台収容の駐車場あり / 40分100円 / 24時間料金600円

ピックアップインフォメーション

片男波公園<万葉館>

企画展「名草まほろば絵画展」

7月13日(木)～10月15日(日)

9:00～17:00

※最終日は15:00まで



「明光の郷」(クレパス画・10号)土井久幸

万葉の和歌浦を含む豊かで美しい名草地域の風景を中心に、油彩、水彩、クレパスで海、山、花など和歌山の自然をモチーフに個性豊かに描かれた絵画約28点を展示。美しい名草地域の風景をお楽しみ下さい。

和歌山市和歌浦南3丁目1700 ☎073-446-5553 9:00～17:00(入館16:30まで)
休月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) 入館無料

和歌山県立博物館

夏休み子ども向け企画展「きのくにのかたな-和歌山県立博物館の赤羽刀-」 7月1日(土)～8月27日(日)

アジア・太平洋戦争の終結後、連合国占領軍によって接収され東京都北区赤羽の米軍兵器補給廠に集められた「赤羽刀」。平成11年に国から当館へ譲与された「赤羽刀」43点を、初めて全て展示します。



きのくにのかたな 銘・為康(県立博物館蔵)

企画展「法燈国師」 9月2日(土)～10月1日(日)

鎌倉時代末期、由良町に西方寺(後の興国寺)を開き、紀伊半島に大きな足跡を残した禅僧-法燈国師(無本覚心)の事績と、その弟子たちの動向について紹介します。

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8670 9:30～17:00(入館16:30まで) 休月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) 企画展/一般280円(団体230円)、大学生170円(団体140円) 特別展/一般520円(420円)、大学生310円(250円) ※無料=高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生(団体は有料。入館者が20名以上の場合は)。毎月第4土曜日「紀陽文化財団の日」は大学生無料

和歌山県立紀伊風土記の丘

夏期企画展「紀伊の地を馬が駆ける」

7月15日(土)～9月3日(日)

9:00～16:30

今から約1,500年前、古墳時代の日本列島ではウマの導入によって、交通革命が起こりました。今回の企画展は、ウマと関わりのある考古資料や、民俗資料の馬具などを通じて、人とウマのかかわりを紹介します。



西庄遺跡(和歌山市) 多量のウマ骨

夏期企画展「展示講座」 7月16日(日)13:30～

■費用:資料代+入館料 ■対象:小学生以上 ■定員30人 ■申込:電話受付のみ(6/30@13:00～、先着順)

和歌山市岩橋1411 ☎073-471-6123 9:00～16:30(入館16:00まで) 休月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) 特別展/一般360円(290円)、大学生220円(160円) ※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料。団体割引あり(20名以上)

和歌山県立近代美術館

企画展「なつやすみの美術館13 feat.橋本知成」

7月11日(火)～9月10日(日)

気軽に美術館を訪れ、美術の楽しみ方を体験できる展覧会シリーズ13回目。湯浅町出身の造形作家、橋本知成(1990-)さんをゲストに迎え、展覧会を構成します。



橋本知成「Untitled」2021年 個人蔵 撮影:Gentoku Katakura

コレクション展2023-春夏/特集 美術と音楽の出会い 7月30日(日)まで開催中

和歌山ゆかりの近現代美術や、日本画作品を紹介。また、シェーンベルクの音楽に感化を受けて先駆的な抽象絵画を発表したカンディンスキーをはじめ、近代以降の美術と音楽に関わる作品を特集します。

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690 9:30～17:00(入館16:30まで) 休月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) 企画展/一般520円(410円)、大学生300円(260円) コレクション展/一般350円(270円)、大学生240円(180円) ※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料。団体割引あり(20名以上)。毎月第4土曜日「紀陽文化財団の日」は大学生無料

和歌山県立自然博物館

特別展「進め!けものみち探検隊」

7月15日(土)～9月3日(日)

今年の特別展のテーマは「けもの」(哺乳類)。和歌山県にはどんな哺乳類が生息しているのか、それぞれの哺乳類の足跡(けものみち)をたどっていくと、どんな暮らしが見えてくるのか。哺乳類の魅力をたっぷり味わってください。



ヤチネズミ

■会場:自然博物館レクチャールーム

海南市船尾370-1 ☎073-483-1777 9:30～17:00(入館16:30まで) 休月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) 一般480円(350円) ※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料。団体割引あり(20名以上)

和歌山市立こども科学館

「七夕特別投影」

8月22日(火)

10:00～(約40分)

今年の8月22日は旧暦の七夕。1日限定で織姫と彦星の七夕伝説を、全天周デジタル投影機を使い美しく迫力ある映像で紹介。定員122人。夏休み期間中、同館で各種教室を開催予定。詳しくはホームページ。
<https://kodomo123.jp/wordpress/>



和歌山市寄合町19 ☎073-432-0002 9:30～16:30 休月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) 一般・高校生300円(230円)、小・中学生150円(110円) ※幼児無料。プラネタリウム/一般・高校生300円(230円)、小・中学生150円(110円) ※団体割引あり(30名以上)

けんぶん友の会のご案内

うれしい会員特典

- ☆入会金・年会費「無料」
- ☆主催公演チケットの優先予約
- ☆会館プレイガイド取扱チケットの電話予約
- ☆文化情報の発送(年4回)

その他特典も!詳しくはお問い合わせください。

問合せ

和歌山県民文化会館友の会事務局
〒640-8269 和歌山市小松原通 1-1
☎073-436-1331



※本冊子掲載の情報は令和5年6月10日現在のものです。以降、日程変更や中止等の場合がありますので、お出かけの際はあらかじめ施設・主催者等に直接お問い合わせください。

※-----※
表紙のひと
※-----※



和歌山県第九合唱団

「市民参加の第九を」と1972年に創立し、昨年初演から50周年を迎えた。半世紀にわたり継続してきた年末の「第九演奏会」では、プロ交響楽団と共に全楽章を演奏。自由・平和・友愛の意味を込めたシラーの詩にベートーヴェンが曲をつけた平和のメッセージを伝え続けている。また、2001年から、主にクラシックの名曲を歌う「夏の大合唱」をスタートした。公演予定=7月9日@15:00～、県民文化会館大ホール「夏の大合唱」/12月10日@14:30～、県民文化会館大ホール「第49回第九演奏会」。団員募集中。

和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts Power

2023年

7・8・9月号

令和5年7月発行 Vol.108

発行/和歌山県

編集・問い合わせ/一般財団法人 和歌山県文化振興財団(ワカフ)

〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)

☎073(436)1331 FAX.073(436)1335

ホームページアドレス/http://www.wacaf.or.jp

Waca.p